

## 「健全化判断比率」などに見る本県の財政状況

全国の自治体は、財政の健全度を示す4つの指標を公表することとなっており、これらを「健全化判断比率」といいます。本県の各指標は、いずれも健全な数値であり、全国的にも中位に位置しています。ただし、県税収入の割合が低いことなどから、県が独自に使えるお金は少ない状態が続いています。

健全化判断比率の4つの指標は良好			県が独自に使えるお金は少ない	
指標	長崎県	早期健全化基準※	指標	長崎県
<b>実質赤字比率</b> 一般会計を中心とした赤字の割合	0% (赤字なし)	3.75%	<b>財政力指数</b> 行政サービスに必要な財源を自力でどれくらい調達できるかを表しており、指数が高いほど費用を自ら賄える	0.332 全国で41位
<b>連結実質赤字比率</b> 一般会計・特別会計・企業会計を合わせた赤字の割合	0% (赤字なし)	8.75%	<b>経常収支比率</b> 県が自由に使える財源のうち、定例的に支出する経費(人件費や借金の返済など)が占める割合。比率が低いほど独自の事業に使えるお金が多い	95.3% 全国で27位
<b>実質公債費比率</b> 財政規模に対する借金の返済額の割合	10.6% 全国で20位	25%		
<b>将来負担比率</b> 財政規模に対する将来の負担となる借金などの割合	175.8% 全国で29位	400%		

※早期健全化基準:この数値を超えると財政健全化の取り組みが必要 (全国順位は、令和4年度決算における順位)

## 令和5年度の主な取り組み

### 子どもが夢や希望を持って健やかに成長できる社会の実現



子どもたちが安心して医療を受けることができるよう、18歳までの子どもを対象とした本県独自の医療費助成制度を市町と連携して創設しました。

### 「長崎県版デジタル社会」の実現



地域が抱える課題をデジタル技術で解決することなどを目的として「ながさきデジタルDEJI-MA産業メッセ2023」を開催しました。

### みんながチャレンジできる環境づくり



農業・漁業の魅力発信や研修支援による就業希望者の受け入れ推進のほか、今後成長が期待される半導体・情報関連分野の人材確保に取り組みました。

### 物価高騰対策



中小企業の省エネ対策や農林水産業者の飼料高騰対策への支援のほか、マイナンバーカードを活用した県民生活支援(デジタルポイント付与)を行いました。

### 今後の方針

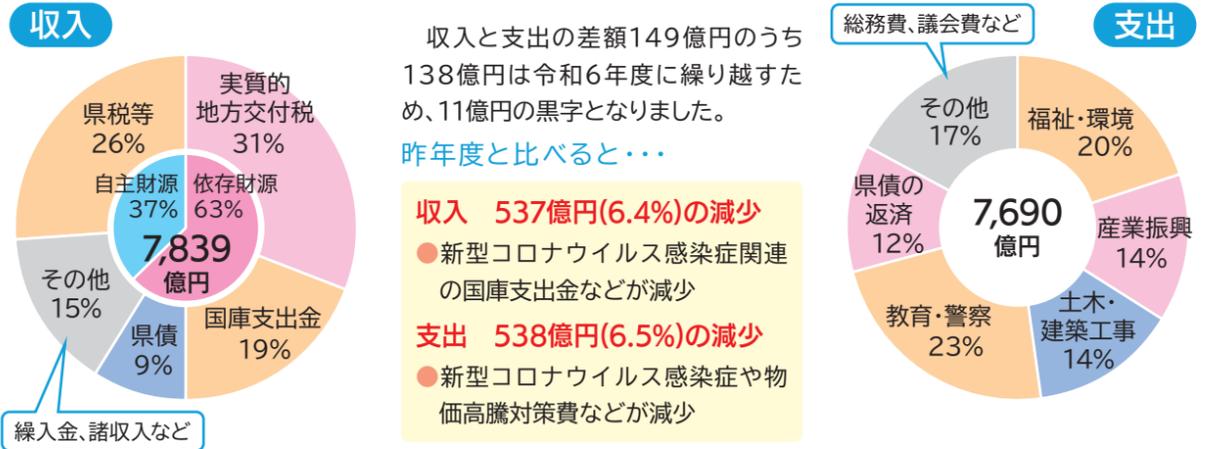
県では、新しい長崎県づくりのビジョンや長崎県総合計画に基づき、人材や産業の育成、持続可能な地域づくりなどに取り組んでいます。厳しい財政状況の中、こうした施策をさらに推進するため、引き続き徹底した収支改善に努めるとともに、地方税財源の確保にも力を注いでいきます。

## 特集 1 special issue

# 長崎県の財政状況 ～令和5年度決算～

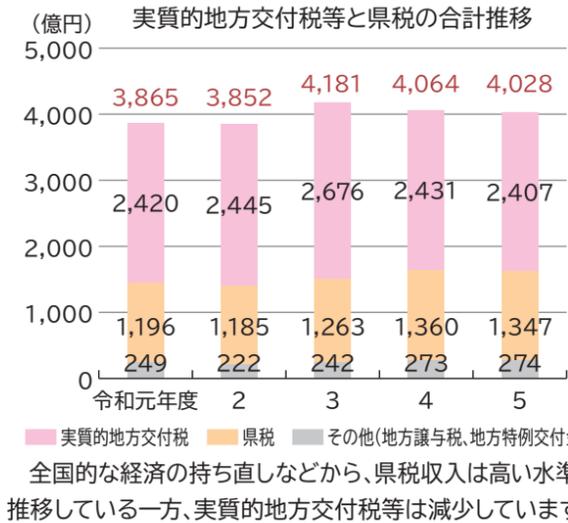
県では、県民の皆さんが納めた税金がどのように使われているかをお知らせするため、予算や決算の状況を毎年公表しています。今回は、令和5年度の決算や県の財政状況の概要をご紹介します。

## 令和5年度決算(一般会計)

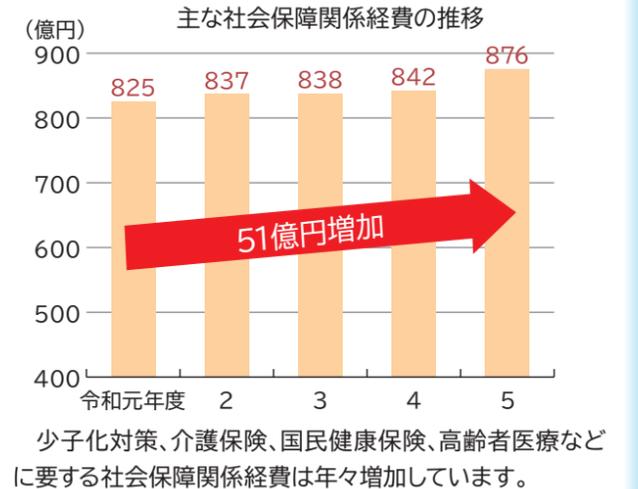


## 本県の財政状況の概要

### 収入の特徴



### 支出の特徴



### 財源調整のための基金残高の推移

基金(県の貯金)の残高は、実質的交付税等の減少や社会保障関係経費の増加に伴い、ピーク時(平成14年度の601億円)から大きく減少していますが、令和5年度は堅調な県税収入などにより、基金の取り崩しに頼らない財政運営を達成できました。

